

(財務状況を全般的に説明する資料)

東京家政学院 令和4年度決算概要について

本学院の財務状況について、資金収支計算書、事業活動収支計算書および貸借対照表により報告する。

会計処理および財務諸表の作成について、大学法人に関しては、平成27年度以降、新会計基準が適用されることになり、財務開示の財務諸表はこの改正に基づき会計処理をし、作成した。

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、諸活動に対応する全ての収入支出の内容と当該年度に係る支払資金の収入と支出の顛末を明らかにする計算書で、活動区分資金収支計算書が付加された。

当年度の収入合計額は34億5,637万円、支出合計額36億6,103万円で、収入から支出を差引いた9億8,761万円が翌年度繰越支払資金となり、前年度に比べ2億466万円の減少となった。

2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該会計年度の事業活動の収入と支出の内容を明らかにし、さらに、両者の均衡状態（基本金組入前・後）を明らかにする計算書である。経営状態を表し、事業活動を3区分して表示する。資産借入返済、積立金など資本的支出に充てる額を除いた支出を計上する。

学校法人の健全な運営に資するため、収入と支出の均衡だけでなく、資金の増減を伴わない現物寄付、引当金繰入額や減価償却費なども含めた状況について把握することを目的としている。

事業活動収入 30 億 2,000 万円、事業活動支出 33 億 5,464 万円で、収支差額は 3 億 3,464 万円の支出超過となった。経常収支差額は3億4,209万円の支出超過、そのうち教育活動収支差額は5億5,686万円の支出超過、教育活動外収支差額は2億1,477万円の収入超過となっている。臨時的な収支である特別収支差額は745万円の収入超過となっている。

3. 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、正味財産（基本金、事業活動収支差額）を把握し、学校法人の財産状態を表す。

令和4年度末の資産総額は95億4,855万円で、負債総額は23億3,695万円である。基本金は215億6,829万円、翌年度繰越収支差額は、△143億5,669万円で、繰越収支差額と基本金を合算した純資産の額(資産総額と負債総額の差額)は72億1,160万円となった。